

友人の親父さんと話す機会がありました。農業一筋できた人です。畑作に汗を流す毎日ですが、息子は会社勤めが忙しく、稲作は食べるだけの面積に縮小して数年になります。機械作業はほとんど委託で、知り合いに頼んでいるそうですが、水管理やアゼの草刈りを自分でやって、それでも23aで17万円の支払いだったとか。米を買ったほうが安い...

これでもなりたい? 田んぼのオーナー 鳴り物入りだったJTは 農業から撤退だってさ

うち(すずき)では、インターネット上に「直売店」を開いていて、下に抜粋したような能書きを書いています。そこに記されている「田んぼのオーナー制度」について、ときどき問い合わせのメールが寄せられます。先日も右のようなメールが届きました。

そこで、もし田んぼを借りて、自分で稲作をしたら経費はどのくらいかかるのかを試算してみました。それが右下の表です。

自分で農機具をそろえて農作業も全部やるなら、借地代と水利費で10a約2万円で済みます。ただし、農機具をどうするかは別にしても、東京から水管理のために3日に1回通ったとしても交通費だけでパンクしてしまうでしょうから現実的ではありませんよね。

逆に、自分の田んぼの米だという満足感だけを得つつ、すべて作業を委託に出したとすると、表のとおり約18万円もかかります。もちろん部分的にでも自分で作業をすれば、その分だけ出費は少なくなります。

有機栽培を前提に試算したので、肥料や農薬代、その散布作業賃は入っていませんが、その代わりヘタをすると収量は5俵以下、

はじめまして

無農薬栽培のお米を検索しているうちにすずき産地さんを見つけました。興味深くHPを見せてもらいました。

> 完全無農薬栽培です。(とうとう達成しました)

達成、おめでとうございます

> 地元でとれたものを地元で食べるのが、食と農の基本と考えています。

私も、そのようには思うのですが、今のところ東京に暮らしていますからそういうわけにも行かず、以下のことに興味を持ちました。

「田んぼのオーナー制度」とは、どのようなものになる予定ですか? 少し教えていただけませんか。お手数ですが、よろしくお願いします。

うまいっても7俵ちょっと、玄米で450kgくらいかな。

このほかに収穫後、米を保冷貯蔵する場所と精米費用、そしてアイガモを肥育する場所とエサ代と処理費用が...いやはや。

さて、次のようなニュースを紹介してまとめて代えましょうか。

日本たばこ産業(JT)は、独自に生産したトマトやキュウリなどの高付加価値の野菜を大手スーパーに販売するアグリビジネスから、来年6月をめどに撤退する。消費者の健康志向の高まりにこたえて「こだわり野菜」を事業として育てる計画だったが、輸入野菜の増加やデフレの進行による価格競争の激化で採算がとれず、事業継続を断念した。

無洗米宣言の保留

ごめんなさい。無洗米宣言は保留します。精米後1日目と2日目に研がずに炊いてみて、これはいけると判断したのですが、4日目、5日目になるとヌカ臭が気になるようになりました。さらに精米法などを工夫してみます。

誤報?

田んぼオーナーの出費試算

地代	20000 円/10a
水利費	1000
堀上げ	3000
施肥	2000(レンゲ散布)
畦ぬり	3000(@30×100m)
田起こし	6000(1回)
代かき	8000(2回)
田植え	10000
苗代	15000
アイガモ	7000(10羽、育雛)
網資材	10000(経年使用)
作業	16000(設置、撤回)
収穫調製	35000
畦草刈り	12000(半日×3回)
水管理	28000(4ヶ月)
計	176000 円/10a

じっさいに募集をするときは、これよりは低い出資額を設定。

すずき産地のホームページから

「作る顔が見える食べ物を」と、米と玉子と野菜を地元の消費者に届けています。食べる人に見ていただけるような「産地」でありたいと努力しています。堅苦しく言うと「地産地消」でしょうか、地元でとれたものを地元で食べるのが、食と農の基本と考えています。

(中略) ネットにのせるのはコシヒカリのみ。荷造り送料を上乗せさせていただいて、10kg 6000円で販売いたします。計算すると通販のほうが手取りは少なくなります。これは、消費者の立場も考えたいという建前でもあり、地元での販売を優先したいという本音でもあります。

なお、いわゆる契約栽培はいたしておりません。田植えした瞬間から他人様の米では面白くない。たとえ売れ残りが出ようとも、「俺の米」を栽培したいという、まっしょうもない粋がりです。

【例外】田んぼのオーナー制度を試験的に設ける予定です。(なかなか実施にいたりません)

